

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

社会で活躍できる人間の育成を通して、地域から信頼される学校をめざします。具体的には、次の3点に取り組みます。

【1】確かな学力の育成と進路実現を支援する学校づくり 【2】安全で安心な魅力ある学校づくり 【3】地域と連携して生徒を育てる学校づくり

2 中期的目標

1 確かな学力の育成と進路実現の支援

(1) 教員の授業力向上

ア 校内での教員間授業見学や法定研修の機会等を活用した研究授業の実施、枚方市内中学校の公開授業や外部機関での研修等への参加により、教員個々の授業改善を図る。

イ 生徒の入学時の学力、および在学中の学力推移を把握したうえで、有効な指導体制と指導方法を検討・実施する。

ウ 新学習指導要領と観点別学習評価の円滑実施

エ 生徒1人1台端末を授業等で有効活用する

※生徒授業アンケートの①「授業内容に興味・関心を持つことができた(興味関心)」と②「授業を受けて知識や技能が身に付いた(知識技能)」の回答ポイント(満点4.0、年2回実施の平均値)の学校平均(R1:①3.14・②3.18→R2:①3.14・②3.18→R3:①3.21・②3.27)⇒①3.25・②3.30(6年度、以下同じ)

※学校教育自己診断(以下、自己診断)生徒対象「教え方を工夫している先生が多い」の肯定的評価(R1:63%→R2:72%→R3:82%)⇒85%

※自己診断保護者対象「子どもは授業が楽しくわかりやすいと言っている」の肯定的評価(R1:44%→R2:55%→R3:57%)⇒60%

(2) 生徒の進路実現の支援

ア 生徒の希望する進路の実現に向け、各種説明会・ガイダンス、面談・面接、補習・講習などの実施により、生徒への支援を充実させる。

イ 3年間を見通したキャリア教育を計画・展開する

※自己診断生徒対象「進路に必要な情報や考え方をきちんと伝えてくれる」の肯定的評価(R1:75%→R2:82%→R3:88%)⇒90%

※自己診断保護者対象「将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」の肯定的評価(R1:74%→R2:79%→R3:83%)⇒85%

※自己診断教職員対象①「生徒一人ひとりの興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている」、②「生徒が望ましい勤労観・職業観を持てるよう系統的なキャリア教育を行っている」の肯定的評価を①(R1:69%→R2:80%→R3:81%)⇒85%、②(R1:36%→R2:53%→R3:71%)⇒75%

2 安全で安心な魅力ある学校づくり

(1) 各種学校行事、HR活動、生徒会活動、部活動等の生徒自治活動の活性化と、自主的に規律ある学校生活を送る意識を高める指導を共に進めることで、生徒の自尊感情や自立心を育成する。

ア 新入生対象の「フレッシュマンキャンプ」、生徒会主催のボランティア活動、各種地域連携活動、部活動など、生徒の自主活動を促進する。

イ 「学校生活協議会(わくわく委員会)」の定期的実施等を通して、よりよい学校生活の実現をめざして、生徒が教職員・PTA・同窓会等と連携して主体的に参加、行動する取組みを進めることで、生徒の主体性や協調性を育む。

※自己診断生徒対象①「生徒会活動は活発である」、②「学校は部活動に積極的に取り組んでいる」、③「学校生活についての先生の指導には納得できる」の肯定的評価を、①(R1:61%→R2:68%→R3:82%)⇒85%、②(R1:68%→R2:76%→R3:84%)⇒87%、③(R1:45%→R2:52%→R3:61%)⇒65%

※自己診断保護者対象①「部活動は活発である」、②「学校の生徒指導の方針に共感できる」の肯定的評価を、①(R1:61%→R2:69%→R3:69%)⇒75%
②(R1:59%→R2:65%→R3:65%)⇒70%

※自己診断教職員対象「生徒指導において家庭との連携ができてきている」の肯定的評価(R1:82%→R2:80%→R3:94%)⇒95%

※生徒の年間登校遅刻回数(R1:728回→R2:630回→R3:624回)⇒600回未満

(2) 教育相談・支援教育体制の充実

ア さまざまな困り感を抱える生徒の早期発見と早期対応につながる、きめこまやかな教育相談・支援教育の体制を構築する。

イ 様々な事象に対する円滑かつ確実な対応ができるよう、校内組織に加え、SC、SSW、学校医、各関係機関等との連携を進める。

※自己診断生徒対象「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」の肯定的評価(R1:65%→R2:75%→R3:84%)⇒90%

※自己診断保護者項目「子どもの心身の健康について気軽に先生に相談できる」の肯定的評価(R1:65%→R2:73%→R3:68%)⇒75%

(3) 人権教育や総合的な探究の時間等の取組みを充実させ、他人を思いやる豊かな心や人権尊重の精神を育成する。

※自己診断生徒対象「人権の尊重について学ぶ機会がある」の肯定的評価(R1:65%→R2:75%→R3:90%)⇒95%

※自己診断保護者項目「学校は子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている」の肯定的評価(R1:65%→R2:73%→R3:76%)⇒80%

(4) 校内防災体制の整備充実

※自己診断生徒対象「学校で事件・地震や火災等があった場合にどう行動したらよいか知らされている」の肯定的評価(R1:65%→R2:64%→R3:61%)⇒70%

※自己診断保護者対象「地震や台風等の場合の行動マニュアルが子どもや保護者に知らされている」の肯定的評価(R1:67%→R2:72%→R3:68%)⇒75%

3 地域と連携して生徒を育てる学校

(1) 枚方市内中学校を中心に、本校生徒の活動の様子や学校の取組みを積極的に発信する広報活動を充実させることで、本校志願者の確保に努める。

ア 学校説明会の実施形態を一層工夫することで、中学生・保護者の参加人数を増やす。

イ 本校教職員の定期的な中学校訪問、部活動での交流、出前授業・学校紹介の実施、相互の授業見学等を実施する。

ウ 本校ホームページと、3つの本校公式 SNS・動画配信サービス等を活用し、速報性重視の広報活動を展開する。

※一般選抜における本校志願者が募集定員(240名)を下回らない(R1:204名→R2:227名→R3:227名)⇒240名以上(各年度)

(2) 自治体、地域自治組織、大学、近隣の保育所・幼稚園・小学校・福祉施設等との連携を深める

ア フレッシュマンキャンプにより、大学からの学生派遣による高大連携、および学校説明会参加中学校との連携を一層推進する。

イ 本校学校行事(体育祭・文化祭等)への招待と、地域施設の見学や各種地域行事へ本校生徒・教職員が参加することで、交流と相互理解を促進する。

※自己診断生徒対象「授業、部活動、学校行事等で地域の人々や他の学校と交流する機会がある」の肯定的評価(R1:49%→R2:48%→R3:70%)⇒75%

4 教職員の働き方改革推進

(1) すべての教職員が、担当業務についての必要性和効率化を常に意識する習慣を持つことを全校的に推進する。

※教員一人平均の月当たり時間外勤務時間(R1:36時間30分→R2:31時間33分→R3:26時間16分)⇒22時間

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>○肯定的回答率の全平均(過去3年間平均と今年度平均の比較) 【生徒】70.6% ⇒ 78.5% 【保護者】69.0% ⇒ 71.8% 【教員】69.2% ⇒ 71.3%</p> <p>○今年度の肯定的回答率の傾向(昨年度と比較して顕著に上昇した項目と加工した項目) 【生徒】 《上昇傾向》 ②この学校にはない特色がある。63.9% ⇒ 70.6% ⑦教え方について工夫している先生が多い。82.4% ⇒ 87.9% ⑩授業や部活動、学校行事などを通して、地域の人々や他の学校と交流する機会がある。70.3% ⇒ 77.9% ⑫学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか、知らされている。61.4% ⇒ 76.6%</p> <p>《下降傾向》 ③教室・特別教室・運動場などは、授業や生活がしやすいように整備されている。84.1% ⇒ 55.9% ⑤学校の施設や設備、学校で使う道具や器具がこわれたときは、すぐに修理したり、取り替えたりしてくれる。61.4% ⇒ 66.8% ⑧他の先生が授業を見学に来ることがある。73.6% ⇒ 62.8% ⑫学校のホームページをよく見る。37.9% ⇒ 29.1%</p> <p>【保護者】 《上昇傾向》 ②この学校は、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる。54.8% ⇒ 61.4% ⑫地震や台風などの場合の対応については、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。67.0% ⇒ 73.7% ⑫この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。48.5% ⇒ 68.4%</p> <p>《下降傾向》 ⑦学校のホームページをよく見る。47.9% ⇒ 39.9%</p> <p>【教職員】 《上昇傾向》 ⑭生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。80.7% ⇒ 93.5% ⑮教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。78.2% ⇒ 83.9%</p> <p>《下降傾向》 ③教員間で評価の在り方について、話し合う機会がある。81.3% ⇒ 71.0% ④教員の間で、授業方法等について検討する機会を積極的に持っている。77.5% ⇒ 67.7% ⑧施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。71.9% ⇒ 51.6% ⑫この学校では、体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導がおこなわれている。90.7% ⇒ 74.2% ⑮生徒が望ましい勤労観・職業観を持てるよう系統的なキャリア教育を行っている。71.0% ⇒ 60.0% ⑯学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。90.7% ⇒ 83.9% ⑰学校として、部活動の活性化について工夫している。78.1% ⇒ 41.9% ⑱人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っており、実践している。75.0% ⇒ 54.8% ⑳この学校では、いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。90.7% ⇒ 74.2% ㉓情報提供の手段都市、学校のホームページが活用されている。93.8% ⇒ 71.0% ㉔学校の教育活動について、教職員で日常的に話合っている。90.6% ⇒ 83.9% ㉕校長は、自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。84.4% ⇒ 64.5% ㉖学校は、教職員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。71.9% ⇒ 64.5% ㉗この学校では、職員会議をはじめ各種会議が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している。68.7% ⇒ 61.3% ㉘この学校では、各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。71.9% ⇒ 61.3% ㉙この学校では、校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。59.4% ⇒ 48.4% ㉚この学校では、初任者等、経験年数の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。56.3% ⇒ 38.7%</p>	<p>第1回(5/27) ○意見交換 ・各種検定取得について学校のフォローはあるのか。(講習等を実施) ・学校経営計画の中に記載されている様々な数値目標が掲げられているのはよいのでこれからも継続してほしい。 ・部活動の加入率はどれくらいなのか。(約45%参加)</p> <p>第2回(11/11) ○意見交換 ・学校説明会の来場者が昨年度より増えているという点について、何か学校として工夫されたことがあるのか?(地道な活動が、よい効果を生んでいるのではないだろうか。) ・生徒授業アンケートの最大値は?(「5」である。)</p> <p>第3回(2/10) 「学校評価自己診断に関する事項」 ○意見交換 ① 分析の方法について、±5だけではなく、±0の箇所でもそもそも低い数値についても考える必要があるのではないか。 ・そもそも低い数値についても合わせて原因を分析し対応を検していく。 ② 教職員アンケート項目で下降している原因について、コロナ前と比べてどうか? ・コロナによる影響がすべてではないが、影響はあるかと思われる。 ③ 教職員アンケートの診断結果が R.2.3→R.4 数値が下降している点について原因を分析し、対策を講じなければならないのでないか。教員から意見が出ている機会を逃さず対応をしたほうがよい。 ・より丁寧な生徒対応への取り組みに加え、生徒の評価基準の細分化による業務量の増加や校務の ICT が進み十分に話し合う機会不足によるものと考えられる。具体的な対策を考えていきたい。</p> <p>「学校経営計画に関する事項」 ○意見交換 ①「思考の扉を開く」優秀生徒の表彰は今年度から数学科も協力して教材を作成したため実施していないのなら「△」ではなく「—」でいいのでは? ・◎○△での表記を求められていたため「△」と記した。 ②校内のトイレ整備はどれくらい進んでいるのですか? ・女子トイレは少しずつ進めている。男子トイレ(小使用)は手つかず。手洗いはすべてのトイレで自動水栓が設置された。 ③学力の低い生徒対応とは具体的にどのようなことをしているのか。 ・授業以外の時間に個別に学習指導を行うなどの対応を実施中。 ④教科によっては中学の内容を補習することもあるとのことだが、その生徒たちを高校の授業についていけるようにすることができるのですか。 ・観点別評価が導入され、知識・技能以外を評価する取り組みを授業に取り入れて行っており、誰もがついていけるよう工夫も行っている。</p> <p>「来年度の学校経営計画に関する事項」 ○意見交換 ①リーディング GIGA ハイスクールになると、何が付与されてどうなるのか? ・教室 ICT 環境のハード面が充実。次回、授業見学をしていただきたいと思っている。 ② 生徒達には電子黒板導入は好評か? ・生徒たちの方が ICT 活用に抵抗なく進んでおり、好評である。</p>

⑳年間の学習指導計画について、各教科で話し合っている。 84.4% ⇒ 58.1%

㉑この学校では、事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対応ができるよう、役割分担が明確化されている。 75.0% ⇒ 64.5%

○総括

- ・学校の施設や設備の整備について、生徒、保護者(71.3%⇒68.4%)、教職員において肯定的回答率の低下がみられる。創立 50 年を迎えて施設・設備の老朽化は否めないが、校内の整理整頓に努め、今あるものを大切に使う一方で、限られた予算ではあるが、優先順位をつけるなどして着実に更新していきたい。
- ・学校ホームページについて、生徒、保護者、教職員において肯定的回答率が低下しているが、緊急連絡を含めた教育活動に関する情報共有は学習支援クラウドサービスを活用しているため、日常的な利活用というよりも学校広報の役割に移行していると考えられる。今後は校務のデジタルトランスフォーメーションを実践していく中でそれぞれの役割について再定義し、質問項目についても検討していきたい。
- ・本校の特色については、生徒および保護者より上昇傾向の評価を受けている。コロナ禍ではあったが、それぞれの教育活動について生徒が楽しみや充実感を持ち、保護者とも共有できた成果であると考えられる。来年度も引き続き、充実した教育活動が提供できるよう努めたい。
- ・教職員のアンケートでは、適性に応じたきめ細やかな進路指導について肯定的回答率が上昇している一方で、望ましい勤労観や職業観を持てる体系的なキャリア教育については下降傾向にある。進路選択の多様化に対応した各学年のキャリア教育について再検討が考えられる。
- ・校内での授業や教育活動について、教員間、教科間、各分掌、各学年、各種会議などで十分に話し合う機会が持てていない様子であるが、その一方で、生徒は先生方が教え方を工夫していることを評価している。先生方個々人が実践している内容を共有する機会や話し合う機会が持てるよう、来年度は新たな工夫を検討していきたい。
- ・教職員間では、人権尊重に基づいた生徒指導や人権尊重に関する様々な指導方法について課題だと感じている傾向がある。学校教育活動全般において、人権尊重の姿勢を大切にしたい指導ができるよう、計画的な教職員人権研修などを通じて実践につながるようにしたい。
- ・部活動の活性化について、教職員は課題を感じている様子がみられる。教職員のワークライフバランスや働きがいなどを鑑みながら、生徒が部活動も楽しめる学校づくりについて来年度検討を重ねたい。
- ・教職員のアンケートでは、初任者等、経験年数の少ない教員を学校全体で育成する体制について極めて低い評価となっている。初任者から教職経験年数の少ない教員を支援する体制づくりを急務として取り組みたい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値] 【学校教育自己診断＝診断と表記】	自己評価
1 確かな学力の育成と進路実現の支援	(1)ア 教員の授業力向上 ・教員個々の授業改善	(1)ア・校内の授業見学、研究授業の実施 ・校外の公開授業や研修等への参加	(1)ア. ・【生徒授業アンケート】①興味関心・②知識技能、の回答ポイント学校平均を前年度より上げる[①3.21・②3.27] ・【診断】(生徒)「教え方を工夫している先生が多い」の肯定率 84%[82%]、(保護者)「子どもは授業が楽しくわかりやすいと言っている」の肯定率 59%[57%] ・校内授業見学週間を2回実施、校外の関係研修等へ2回以上参加。	(1)ア. 【生徒授業アンケート】①3.26(○)②3.32(○) 【診断】(生徒)87.9%(◎)(保護者)55.7%(△) ・授業見学週間1回、校外の研修(他府県視察、摂南大学主催高大教職員向け研修等)2回(△)
	イ 生徒の学力把握に基づく指導	イ・年度当初に実施する基礎学力調査の結果を分析し、特に到達度の低い生徒への組織的な指導方法を検討・実施	イ・分析結果の校内共有と各教科・学年で具体的指導方法を検討・実施	イ.学力生活実態調査等の分析を共有・指導方法検討(○)
	ウ 新学習指導要領と観点別学習評価の実施	ウ・教務部と教科主任を中心に、実施状況や評価方法の検討、教員研修等を実施。	ウ・教科主任会議の定例開始と関連校内研修の実施	ウ.定期的に教科主任会議実施し観点別評価方法について実践共有し、授業見学週間で校内研修を実施した(○)
	エ 生徒1人1台端末活用	エ・ICT推進委員会を中心に教員研修や研究授業等を実施	エ・年間1回以上の研修・研究授業の実施	エ.Web 会議システムや協働アプリ使用に係る研修を実施(○)
	(2)ア 生徒の進路実現支援 ・生徒の希望する進路実現への支援を実施	(2)ア・各学年で必要な時期に、各種説明会・ガイダンス、面談・面接、補習・講習などを実施する。 ・特に理系進学希望者への対応を検討する	(2)ア. ・【診断】(生徒)「進路に必要な情報や考え方をきちんと伝えてくれる」の肯定率 90%[88%]。(保護者)「進路や職業への適切な指導を行っている」の肯定率5%[83%]、(教職員)①「進路についてきめ細かい指導を行っている」 ・②「体系的なキャリア教育を行っている」の肯定率を①83%[81%]・②73%[71%] ・人文ステップアップ委員会やカリキュラム委員会で具体策を検討	(2)ア. ・【診断】(生徒)89.2%(○)昨年度より上回り目標値にも近値であった。(保護者)81.1%(△)(教職員)①93.5%(◎) ・②60.0%(△) ・学校全体でカリキュラムについて検討した。(○)
イ 3年間を見通したキャリア教育の計画・展開	イ・生徒が各種資格取得(英語、情報、ワープロ、数学、漢字、ニュース検定等)めざすことで進路意識の向上を図る。 ・大阪府生徒研究発表会等の対外的研究発表への参加を増やす。 ・学校設定教科「思考の扉を開く」による3年間継続した表現力育成	イ・各種検定試験の受検者数を前年より増やす。 英検[62名]、数検[30名]、ワープロ・情報関連[62名] ・大阪府生徒研究発表会等の対外的研究発表へ1回以上参加[1回] ・「思考の扉を開く」優秀生徒の表彰を学期ごとに実施	イ・英検 73 名、数検 33 名、ワープロ・情報関連 58 名(○) ・対外的研究発表(理科研究部:大阪サイエンスデイズ、北河内サイエンスデイズ)2回(○) ・今年度から数学科も協力して教材を作成したため表彰が趣旨に合わない判断して実施せず(△)	

府立長尾高校学校

2 安全で安心な魅力ある学校づくり	<p>(1) 生徒自治活動の活性化と、自主的に規律ある学校生活を送る意識を高める指導を共に進め、生徒の自尊感情や自立心を育成</p>	<p>(1)ア・新入生対象の「フレッシュマンキャンプ」、生徒会主催のボランティア活動、緑化推進活動、各種地域連携活動、部活動など、生徒の自主活動を促進する。</p> <p>・部活動への加入を促進する</p> <p>イ・「学校生活協議会(わくわく委員会)」の定期的実施等を通して、よりよい学校生活の実現をめざして、生徒が教職員・PTA・同窓会と連携して主体的に参加、行動する取組みを進めることで、生徒の主体性や協調性を育む。</p> <p>・「総合的な探究の時間」を活用したコミュニケーション能力育成</p>	<p>(1)ア・【診断】(生徒)①「生徒会活動は活発」・②「部活動に積極的に取り組んでいる」・③「先生の指導に納得できる」の肯定的評価を、①84%[82%]・②86%[84%]・③63%[61%]。(保護者)①「部活動は活発である」・②「生徒指導方針に共感できる」の肯定的評価を、①71%[69%]・②67%[65%]。(教職員)「生徒指導で家庭との連携ができています」の肯定的評価を 96%[94%]。</p> <p>・生徒の年間登校遅刻を昨年度以下にする[624回]</p> <p>・フレッシュマンキャンプ(新入生・中学生対象)を3回実施[3回]</p> <p>・部活動加入率 50%[45%]</p> <p>イ・わくわく委員会の年3回実施[3回]</p> <p>・総合的な探究の時間に、外部講師による演劇指導を実施</p>	<p>(1)ア・【診断】(生徒)①85.6%(○)②86.1%(○)③62.4%(△)(保護者)①66.7%(△)②63.2%(△)(教職員)83.9%(△)</p> <p>・生徒の年間登校遅刻回数 793回(△)</p> <p>・新入生1回、中学生対象2回実施の計3回実施(○)</p> <p>・部活動加入率 34.6%(10月現在)(△)</p> <p>イ・学期ごとに3回(○)実施</p> <p>・外部講師による演劇指導を実施し、外部施設で公演会を開催(○)</p>
	<p>(2) 教育相談・支援教育体制の充実</p> <p>ア きめこまやかな教育相談・支援教育の体制構築。</p> <p>イ SC、学校医、各関係機関等との連携。</p>	<p>(2)ア・さまざまな困り感を抱える生徒が増えてきていることを踏まえた、早期発見と早期対応の体制</p> <p>・生徒理解を深める教職員研修の企画実施</p> <p>イ・事象発生時に関係教職員によるケース会議を早期に実施し、必要な外部機関等への連絡協力依頼を図る。</p> <p>・SC、学校医等と管理職の連絡を通常から密にする。</p>	<p>(2)ア・【診断】(生徒)「悩みや相談に親身に応じてくれる先生が多い」の肯定的評価 86%[84%]、(保護者)「子どもの心身の健康について気軽に相談できる」の肯定的評価 70%[68%]</p> <p>・2回以上の教職員研修実施[1回]</p> <p>イ・SC 来校時に可能な限り管理職との面談を実施</p>	<p>(2)ア・【診断】昨年度の達成状況が高く現状は維持できた。(生徒)84.7%(○)(保護者)66.4%(△)</p> <p>・コロナ禍において現状維持ができた。1回実施(○)「発達障がいがある生徒への対応について」</p> <p>イ.生徒の状況に応じて SC、行政機関、SSW と連携(◎)</p>
	<p>(3) 豊かな心や人権尊重の精神を育成する</p>	<p>(3)・3年間を見通した人権教育計画の作成</p> <p>・本校生徒間でトラブルの多い SNS 利用時の問題への対応</p>	<p>(3)・【診断】(生徒)「人権尊重について学ぶ機会がある」の肯定的評価 92%[90%]、(保護者)「子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている」の肯定的評価 78%[76%]</p> <p>・人権教育推進委員会による年間人権教育計画策定</p> <p>・SNS 利用時の生徒人権学習の実施[2回]</p> <p>・年2回以上の教職員人権研修の実施[1回]</p>	<p>(3)・【診断】(生徒)88.4%(△)(保護者)75.9%(△)</p> <p>・計画通り実施(○)</p> <p>・外部講師による講演を含め2回実施(○)</p> <p>・「ヤングケアラー」「同和問題」「心理的安全性」をテーマに計3回実施(◎)</p>
	<p>(4) 防災体制の整備充実</p>	<p>(4)・新型コロナの影響で2年連続して見送っている避難訓練の実施</p> <p>・生徒向け救急法講習の実施</p> <p>・関連する教職員研修の企画実施</p> <p>・地域自治体と連携した防災体制の整備</p>	<p>(4)・【診断】(生徒)「事件・地震や火災等の場合の行動が知らされている」の肯定的評価 63%[61%]、(保護者)「地震や台風等の場合の行動マニュアルが知らされている」の肯定的評価 70%[68%]</p> <p>・生徒実地避難訓練の実施(オンライン活用も含む)[コロナ対応で0回]</p> <p>・生徒向け救急法講習の実施[1回]</p> <p>・教職員研修(エビベン、避難経路、救急法等)の実施[1回]</p> <p>・地域防災訓練への参加[コロナ対応で0回]</p>	<p>(4)【診断】(生徒)76.6%(◎)(保護者)73.7%(◎)</p> <p>・1回実施(○)</p> <p>・1回実施(○)</p> <p>・1回実施(○)避難経路の確認を行った。</p> <p>・1回(○)長尾校区地域防災訓練に参加</p>
	<p>(5) 登下校時の安全指導の強化</p>	<p>(5)・本校教職員による校外立番を含む交通安全指導の実施</p> <p>・生徒対象の交通安全講習の実施</p> <p>・外部機関、警察、地域小中学校との連携による交通安全指導の実施</p>	<p>(5)・教職員による2回以上の交通安全指導実施[2回]</p> <p>・年間1回の1年生対象交通安全講習の実施[コロナ対応で0回]</p>	<p>(5)・2回実施(○)</p> <p>・1回実施(○)</p>

府立長尾高校学校

3 地域と連携して生徒を育てる学校	<p>(1) 中学への広報活動を充実させ、本校志願者の確保に努める。</p> <p>(2) 自治体、地域自治組織、大学、近隣の保育所・幼稚園・小学校・福祉施設等との連携を深める</p>	<p>(1) ア・学校説明会の企画において、本校生徒が運営により多く関わる機会を増やす。</p> <p>イ・枚方市内各中学校について担当教員を決めて、中学校訪問、電話連絡等を行う。</p> <p>ウ・本校ホームページと、3つの本校公式 SNS・動画配信サービス等を活用し、速報性重視の広報活動を展開する。</p> <p>(2) ア・フレッシュマンキャンプにおける本校ファシリテーター(新入生指導役)生徒の育成</p> <p>・摂南大学など近隣大学との交流事業等を通じた連携の推進</p> <p>イ・本校学校行事(体育祭・文化祭等)へ地域の皆さんを招待する。</p> <p>・本校生徒と教職員が、地域施設の見学や各種地域連携行事(夏祭り、清掃活動等)へ参加する。</p> <p>・本校主催の地域連携行事として昨年度実施した「長尾祭」を今年度も開催する。</p>	<p>(1) ア・一般選抜志願者 240 名以上[227 名]</p> <p>・学校説明会参加者(中学生・保護者)の事後アンケート結果における満足度平均 90%以上。[90%]</p> <p>イ・枚方市内各中学校について、担当教員による年間3回の学校訪問(電話連絡)を実施。[3回]</p> <p>ウ・ホームページ等の担当者を複数置くことで速報性を向上させる。</p> <p>(2) ア・【診断】(生徒)「地域の人々や他の学校と交流する機会がある」の肯定的評価 72%[70%]</p> <p>・ファシリテーター生徒の増加[64 名]</p> <p>・ファシリテーター生徒を育成する研修会の企画実施、関連する校外行事への参加を促進する。</p> <p>イ・学校行事への地域招待を可能な限り実施する。[コロナ対応で0回]</p> <p>・各種地域連携行事に可能な限り参加する。[コロナ対応で0回]</p> <p>・「長尾祭」の実施に向けた校内体制の構築、地域との連携を進める。</p>	<p>(1) ア・一般選抜志願者 252 名(○)</p> <p>・第1回説明会において施設面等について保護者の満足度が極端に低いことがあった。84.6%(△)</p> <p>イ・学校パンフレットの持参、学校説明会の案内連絡、各校訪問3回(○)</p> <p>ウ・ホームページ担当者を複数置いていたが主担者に業務が偏り、SNS のアカウントを複数教員で共有したが速報性には十分対応できたとは言えなかった。(△)</p> <p>(2) ア・【診断】(生徒)77.9%(◎)</p> <p>・48 名(△)登録生徒数は減少したが研修会、防災キャンプ、高大連携など活躍の機会増加。</p> <p>イ・新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み地域招待は断念したが、学校行事へ保護者を招待(○)</p> <p>・3回(○)地域清掃活動、交野市教育員会主催忍者キャンプ、寝屋川市主催エンジョイフェスタ in ねやがわ、など</p> <p>・NAGAO Education Fes 開催(○)近隣中学校の吹奏楽部及び軽音楽部と合同演奏など実施</p>
4 教職員の働き方改革推進	<p>(1) 担当業務の必要性和効率化への意識習慣を持つ</p>	<p>・ノー残業デー、ノークラブデーの推進</p> <p>・時間外労働時間の多い教職員に対する管理職からの声掛けと業務の確認</p>	<p>・教員一人平均の月当たり時間外勤務時間を昨年度より10%減らす</p> <p>[28 時間 47 分]</p>	<p>・目標の 10%減が達成できた(○)</p>